

2018年12月17日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
 会 社 名 GMO インターネット株式会社
 代 表 者 代表取締役会長兼社長 熊谷 正寿
 グループ代表
 (コード番号 9449 東証第一部)
 取締役副社長
 問い合わせ先 グループ代表補佐 安田 昌史
 グループ管理部門統括
 T E L 03-5456-2555(代)
 U R L <https://www.gmo.jp>

連結子会社株式の一部売却に関するお知らせ

当社は、本日(2018年12月17日)開催の取締役会において、連結子会社であるGMO ペイメントゲートウェイ株式会社(証券コード:3769・東証一部、以下、GMO-PG)株式の一部売却を行なうことを決議しましたので、下記のとおりお知らせします。なお、本取引による子会社の異動はありません。

記

1. 株式売却の概要

(1) 売却対象株式	GMO-PG 普通株式 7,200,000 株(議決権総数の9.7%)
(2) 売却方法	SMBC 日興証券株式会社(以下、SMBC 日興証券)との間の相対取引によるものとします。なお、SMBC 日興証券は本株式を取得後、直ちに転売する予定です。
(3) 売却額	現在買取人である SMBC 日興証券と交渉しております。最終的な売却額は確定し次第、別途お知らせします。
(4) 売却予定日(受渡期日)	2018年12月21日(予定)

(GMO-PG の概要)

(1) 名 称	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
(2) 所在地	東京都 渋谷区道玄坂1丁目 14 番 6 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 相浦 一成
(4) 事業内容	総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
(5) 資本金	4,712 百万円 (2018年9月30日現在)
(6) 設立年月日	1995年3月

2. 株式売却の目的

当社グループは、インターネット金融事業を擁する企業グループとして、潤沢な手元流動性の確保と適切な資本水準の維持により更なる財務基盤の強化を図ることが必要と考えています。この度、保有資産の時価、流動性等を含む様々な点を勘案した上で、本取引を決議いたしました。

3. 今後の見通し

本取引により、GMO-PG に対する議決権比率は 42.0% (売却前 51.7%) へ低下しますが、GMO-PG の取締役会の構成員の状況を鑑み、実質支配基準により、連結子会社であることに変更はありません。また、同社がインターネットインフラ事業の中核を担う重要な子会社であるという位置づけにも変更はありません。

なお、本売却により個別決算上、2018 年 12 月期において特別利益 (関係会社株式売却益) の計上が見込まれます。一方、連結決算上は同社が連結子会社であることに変更がないため、資本剰余金の変動はあるものの、連結損益への影響は軽微です。

4. ロックアップについて

当社は、2018 年 12 月 18 日から 2019 年 3 月 20 日 (当日を含む) までの期間中、SMBC 日興証券の事前の書面による承諾を受けることなしに、当社が保有する GMO-PG 普通株式の処分を行いません。

以 上